| 科目名: 看護技術論Ⅱ | 必修 | 1単位(45時間) |
|---|---|---|
| (Fundamentals of Nursing Skill Ⅱ) | | |

履修年次/時期: 1年次 前期　　授業形態: 講義,演習

主担当教員: 飯塚 雅子

主担当教員詳細: 実務経験 看護師6年7か月:実務経験より、日々自分が行っている生活行動の意味を考え ながら、対象者の日常生活行動を支援するための看護技術ついて授業を行っていく。

担当教員名: 永井 朋子, 北村 容子

| | | | |
|---|---|---|---|
| 学修目的 | 基礎看護技術は、安全・安楽・自立を目的に、科学的思考および豊かな人間理解に基づいて行われる看護の基本的方法であり、看護実践に共通する基本的な看護技術を修得することを目的とする。対象者の日常生活行動を支援するための安楽な体位、活動と休息、環境、食事などの基礎的技術において、科学的根拠に基づいて学修し、演習を通して理解を深める。<br>関連するCP: CP2,CP3,CP4　　科目No. KNz-128 | | |
| この科目が目的としているDP | 1. 医療専門職としての倫理観を有する。 | (1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。 | ○ |
| | | (2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。 | ○ |
| | 2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。 | (1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。 | ○ |
| | | (2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。 | ◎ |
| | | (3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。 | ○ |
| | 3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。 | (1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。 | ○ |
| | | (2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。 | ○ |
| | | (3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。 | ○ |
| | ◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP<br>○: この講義・演習・実習と関連があるDP | | |
| 到達目標 | ①安全な方法で体位変換をすることができ、安楽な体位に整えることができる。<br>②活動と休息の意義がわかり、安全な方法で車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送ができる。<br>③病床環境を理解し、対象に応じた環境調整が実施できる。<br>④入院患者における食事の意義や口腔の清潔について理解し、適切な方法で食事介助や口腔ケアが実施できる。 | | |
| 授業概要 | 人にとっての日常生活行動の意味を理解し、対象の日常生活を支援するための原理・原則や根拠に基づいた看護を提供する能力を学ぶ。活動・休息、環境調整、食事への援助技術を学ぶ。 | | |
| 評価方法 | 筆記試験 80%<br>課題 20%(①横正、②飯塚、③横正、④北村 各5点×4課題) 詳細は授業内で提示する。<br>試験に対するフィードバックは掲示で行う。 | | |
| 予習・復習時間 | 【予習】0.5時間<br>【復習】0.5時間 | | |
| 教科書 | 系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院<br>根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 任 和子ほか、医学書院 | | |
| 参考書 | 必要時、提示する。 | | |
| オフィスアワー連絡先 | 飯塚 雅子 3号館3階研究室 iizuka.masako@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします<br>永井 朋子 3号館3階研究室 t.nagai@kdu.ac.jp 同上<br>北村 容子 3号館3階共同研究室 y.kitamura@kdu.ac.jp 同上 | | |

| 実施回 | 第1回 | 実施日 | 2026/04/27（月） | 時限 | 4 | 班 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業計画 | 活動・休息援助技術（1）<br>①活動と休息の意義がわかる。<br>②よい姿勢とは何かがわかる。<br>③ボディメカニクスの原理がわかる。<br>課題①：内容、提出日時は授業内で提示する（5点） | 予習 | 基礎看護技術Ⅱ第4章A、第5章A、サブテキスト第4章−1、第5章−1を読み、分らない言葉を調べておく。 | | | | |
| | | 復習 | 援助計画（演習ノート）を仕上げ関連する動画を視聴する。 | | | | |
| | | キーワード | 体位、体位変換、ボディメカニクス、廃用症候群の予防、活動と運動に影響する要因、活動と運動のアセスメント | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 担当 | 飯塚 | | | | |

| 実施回 | 第2回 | 実施日 | 2026/04/28（火） | 時限 | 3 | 班 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業計画 | 環境調整技術（1）<br>①環境の要素がわかる。<br>②空間・照明・換気・プライバシーの保護など病室における環境調整の方法がわかる。<br>③医療施設で使用される主なベッドや寝具の特徴がわかる。<br>課題②：内容、提出日時は授業内で提示する（5点） | 予習 | 基礎看護技術Ⅱ第1章、サブテキスト第1章−1を読み、分らない言葉を調べておく。 | | | | |
| | | 復習 | 環境に関するポートフォリオを仕上げ、関連する動画を視聴する。 | | | | |
| | | キーワード | 病室環境、共有スペース、居住スペース、療養環境のアセスメント | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 担当 | 飯塚 | | | | |

| 実施回 | 第3回 | 実施日 | 2026/04/28（火） | 時限 | 4 | 班 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業計画 | 環境調整技術（2）<br>①ベッド周囲と病床の環境整備の実際がわかる。<br>②ベッドメーキング、臥床患者のリネン交換の実際がわかる。 | 予習 | 基礎看護技術Ⅱ第1章、テキスト第1章−1・3を読み、分らない言葉を調べておく。 | | | | |
| | | 復習 | 援助計画（演習ノート）を仕上げ、関連する動画を視聴する。 | | | | |
| | | キーワード | 環境整備、ベッドメーキング、臥床患者、臥床患者のリネン交換、療養環境の調整と整備 | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 担当 | 飯塚 | | | | |

| 実施回 | 第4回 | 実施日 | 2026/05/08（金） | 時限 | 3 | 班 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業計画 | 活動・休息援助技術（2）<br>【体位変換、体位保持】<br>①体位変換と体位保持の基本を習得する。 | 予習 | 作成した援助計画（演習ノート）を読み、関連する動画を視聴し、演習をイメージしておく。 | | | | |
| | | 復習 | 演習内容を振り返る。 | | | | |
| | | キーワード | ボディメカニクス、支持基底面 | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 担当 | ○飯塚，北村，永井 | | | | |

| 実施回 | 第5回 | 実施日 | 2026/05/11（月） | 時限 | 3 | 班 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業計画 | 活動・休息援助技術（3）<br>①座位保持、起立動作、歩行の援助方法がわかる。<br>②車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送の方法がわかる。<br>③人間にとって最良の休息である睡眠の生理を理解する。<br>④良質の睡眠をとるための援助方法がわかる。<br>課題③：内容、提出日時は授業内で提示する（5点） | 予習 | 基礎看護技術Ⅱ第4章A・B、サブテキスト第4章−4・5を読み、分らない言葉を調べておく。 | | | | |
| | | 復習 | 援助計画（演習ノート）を仕上げ、関連する動画を視聴する。 | | | | |
| | | キーワード | 歩行、移乗・移送、活動と運動を促す援助、サーカディアンリズム、睡眠、休息と睡眠に影響する要因、休息と睡眠のアセスメント、休息と睡眠を促す援助 | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 担当 | 永井 | | | | |

| 実施回 | 第6回 | 実施日 | 2026/05/12（火） | 時限 | 3 | 班 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業計画 | 環境調整技術（3）<br>【ベッドメーキング】<br>①基本ベッドが作成できる。<br>②リネン類の取り扱いができる。<br>【環境整備】<br>①ベッド周囲の環境を安全・安楽に整えることができる。 | 予習 | 作成した援助計画（演習ノート）を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 | | | | |
| | | 復習 | 演習内容を振り返る。 | | | | |
| | | キーワード | ベッドメーキング、マットレス、シーツ、包布、中心線、環境整備 | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 担当 | ○飯塚，北村，永井 | | | | |

| 実施回 | 第7回 | 実施日 | 2026/05/12（火） | 時限 | 4 | 班 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業計画 | 環境調整技術（4）<br>【ベッドメーキング】<br>①基本ベッドが作成できる。<br>②リネン類の取り扱いができる。<br>【環境整備】<br>①ベッド周囲の環境を安全・安楽に整えることができる。 | 予習 | 作成した援助計画（演習ノート）を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 | | | | |
| | | 復習 | 演習内容を振り返る。 | | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | ①ベット周囲の環境を安全・安楽に整えることができる。 | キーワード | ベッドメーキング、マットレス、シーツ、包布、中心線、環境整備 |
| 授業形態 | 演習 | 担当 | ○飯塚, 北村, 永井 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実 施 回 | 第8回 | 実 施 日 | 2026/05/19 (火) | 時限 | 3 | 班 | |
| 授業計画 | 活動・休息援助技術(4)<br>【車椅子とストレッチャー移乗・移送、起立動作、歩行の援助】<br>①患者の状態に応じて安全・安楽に車椅子・ストレッチャーに移乗・移送する方法を習得する。<br>②運動機能の低下した患者の起立動作や歩行援助の方法を習得する。 | 予 習 | 作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 | | | | |
| | | 復 習 | 演習内容を振り返る。 | | | | |
| | | キーワード | ボディメカニクス、支持基底面、移動・移送、起立動作、歩行 | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 担当 | ○永井, 飯塚, 北村 | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実 施 回 | 第9回 | 実 施 日 | 2026/05/19 (火) | 時限 | 4 | 班 | |
| 授業計画 | 活動・休息援助技術(5)<br>【車椅子とストレッチャー移乗・移送、起立動作、歩行の援助】<br>①患者の状態に応じて安全・安楽に車椅子・ストレッチャーに移乗・移送する方法を習得する。<br>②運動機能の低下した患者の起立動作や歩行援助の方法を習得する。 | 予 習 | 作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 | | | | |
| | | 復 習 | 演習内容を振り返る。 | | | | |
| | | キーワード | ボディメカニクス、支持基底面、移動・移送、起立動作、歩行 | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 担当 | ○永井, 飯塚, 北村 | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実 施 回 | 第14回 | 実 施 日 | 2026/05/21 (木) | 時限 | 3 | 班 | |
| 授業計画 | 食事援助技術(3)<br>①口腔ケアの目的と具体的方法がわかる。<br>②義歯の取り扱い方がわかる。 | 予 習 | 基礎看護技術Ⅱ第6章A、サブテキスト第6章を読み、分らない言葉を調べておく。 | | | | |
| | | 復 習 | 援助計画(演習ノート)を仕上げ、関連する動画を視聴する。 | | | | |
| | | キーワード | 口腔ケア、スクラブ法、ローリング法、フォーンズ法、バス法、義歯 | | | | |
| 授業形態 | 講義,演習 | 担当 | 講義　○歯衛　北村演習グループワーク　　飯塚 | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実 施 回 | 第10回 | 実 施 日 | 2026/05/21 (木) | 時限 | 4 | 班 | |
| 授業計画 | 食事援助技術(1)<br>①健康な生活における食事・栄養の意義がわかる。<br>②食事摂取行動と消化・吸収のメカニズムがわかる。<br>③食事摂取基準と病院における食事がわかる。<br>④栄養状態の査定をするための観察とアセスメントのしかたがわかる。<br>課題④:内容、提出日時は授業内で提示する(5点) | 予 習 | 基礎看護技術Ⅱ第2章A、サブテキスト第2章を読み、分らない言葉を調べておく。 | | | | |
| | | 復 習 | 講義内容を振り返る。 | | | | |
| | | キーワード | 健康な食生活と食事摂取基準、治療食、療養食、食事と栄養に影響する要因、食事と栄養のアセスメント | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 担当 | 飯塚 | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実 施 回 | 第12回 | 実 施 日 | 2026/05/26 (火) | 時限 | 3 | 班 | |
| 授業計画 | 環境調整技術(5)<br>【臥床患者のリネン交換】<br>①臥床患者の環境調整を安全に実施する方法を習得する<br>②臥床患者のリネン交換を安全に実施する方法を習得する | 予 習 | 作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 | | | | |
| | | 復 習 | 演習内容を振り返る。 | | | | |
| | | キーワード | 臥床患者、リネン交換 | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 担当 | ○飯塚, 北村, 永井 | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実 施 回 | 第13回 | 実 施 日 | 2026/05/26 (火) | 時限 | 4 | 班 | |
| 授業計画 | 環境調整技術(6)<br>【臥床患者のリネン交換】<br>①臥床患者の環境調整を安全に実施する方法を習得する<br>②臥床患者のリネン交換を安全に実施する方法を習得する | 予 習 | 作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 | | | | |
| | | 復 習 | 演習内容を振り返る。 | | | | |
| | | キーワード | 臥床患者、リネン交換 | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 担当 | ○飯塚, 北村, 永井 | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実 施 回 | 第11回 | 実 施 日 | 2026/06/02 (火) | 時限 | 3 | 班 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 授業計画 | 食事援助技術(2)<br>①経口摂取可能な患者の具体的な食事介助の方法がわかる。<br>②非経口栄養法の種類と方法がわかる。 | 予　習 | 基礎看護技術Ⅱ第2章A-D、サブテキスト第2章を読み、分らない言葉を調べておく。 |
| | | 復　習 | 援助計画(演習ノート)を仕上げ、関連する動画を視聴する。 |
| | | キーワード | 食事の環境整備、食事介助、食事摂取の自立困難な人への援助、誤嚥・窒息の予防、嚥下障害のある人への援助、経管・経腸栄養法、経静脈栄養法 |
| 授業形態 | 演習 | 担当 | ○飯塚, 永井, 北村 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実 施 回 | 第15回 | 実 施 日 | 2026/06/02 (火) | 時限 | 4 | 班 | |
| 授業計画 | 食事援助技術(3)<br>【食事援助】<br>①経口摂取可能な患者の食事援助方法を習得する。 | 予　習 | 作成した援助計画(演習ノート)を読み、関連する動画を視聴し、演習のイメージをしておく。 | | | | |
| | | 復　習 | 演習内容を振り返る。 | | | | |
| | | キーワード | 食事の環境整備、経口摂取、嚥下状態、食事の体位、食事援助前後の評価 | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 担当 | ○飯塚, 永井, 北村 | | | | |